

第 66 回

全国高等学校PTA連合会大会
千葉大会

分科会・ 特別分科会



「再発見！愛」
～今こそ信じよう愛の絆～

分科会一覽

	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会
テーマ	学校教育とPTA グローバル化に対応した 資質・能力を育む	進路指導とPTA 希望進路を実現する進路指導	生徒指導とPTA 思いやりのある「豊かな心」 を育む生徒指導	家庭教育とPTA 多様化する情報社会における 青少年の健全育成
会場	国際展示場9ホール	国際展示場2ホール	国際展示場3ホール	国際会議場 コンベンションホール
発表形式	事例発表と研究協議	事例発表と研究協議	事例発表と研究協議	事例発表と研究協議
助言者	大久保尚紀 日本大学理工学部 准教授/高大連携委員	長澤 成次 千葉大学教育学部 教授	岩永 雅也 放送大学教養学部 教授/博士	譚 奕飛 中央学院大学商学部 准教授
	小澤美代子 さくら教育研究所 所長	島影 義和 流通経済大学経済学部 教授/就職支援センター長	滝本 信行 千葉大学教育学部 特命教授	山西 哲也 淑徳大学総合福祉学部 准教授
発表者	坂本 覚 北海道恵庭北高等学校 PTA会長	山岸 智子 宮城県仙台向山高等学校 PTA会長	岩本 光正 福島県立葵高等学校 PTA会長	篠塚 典幸 茨城県立波崎高等学校 前PTA会長
	砂金 達 東京都立富士高等学校・東京 都立富士高等学校附属中学校 父母と先生の会 前会長	宇佐美雄三 栃木県立栃木高等学校 PTA顧問(前会長)	興津 邦彦 静岡県立焼津水産高等学校 PTA会長	阪倉 悦子 三重県立石薬師高等学校 前PTA会長
	村上 久明 京都市立西京高等学校 前PTA会長	山口 由美 福井県立福井農林高等学校 PTA副会長	松永 哲也 滋賀県立長浜農業高等学校 PTA会長	谷野 啓吾 金沢市立工業高等学校 PTA会長
	岡本 健博 岡山県立井原高等学校 PTA会長	濱渦 教邦 高知県立高知工業高等学校 PTA会長	三島 光敏 佐賀県立太良高等学校 PTA会長	山本 美穂 福岡県立西田川高等学校 PTA会長
全国高等学校 PTA連合会 担当役員	大石 幸和 全国高P連理事	泉 満 全国高P連健全育成委員長	川部 幸博 全国高P連理事	山野 公寛 全国高P連理事
	福井 玲子 全国高P連研修委員	川北 恭弘 全国高P連研修委員	伊東 猛彦 全国高P連研修委員	大溝 雅昭 全国高P連研修委員
班 長	川島 正博 千葉県立成東高等学校 PTA副会長	細淵 一之 千葉県立市原高等学校 PTA会長	鈴木 光則 千葉県立佐原白楊高等学校 PTA会長	大森まり子 千葉県立鎌ヶ谷西高等学校 PTA会長
副班長	上代 真澄 千葉県立成東高等学校 校長	笹子 泰明 千葉県立市原高等学校 校長	小西 則子 千葉県立佐原白楊高等学校 校長	畑 順子 千葉県立鎌ヶ谷西高等学校 校長
				古川 知己 千葉県立鎌ヶ谷高等学校 校長
主 任	岩崎 洋和 千葉県立成東高等学校 教諭	田邊 学 千葉県立市原高等学校 教諭	秋葉 章二 千葉県立佐原白楊高等学校 教諭	松本 隆文 千葉県立鎌ヶ谷西高等学校 教諭
		森川 浩一 千葉県立木更津高等学校 教諭		後藤 光康 千葉県立鎌ヶ谷西高等学校 教諭
司 会	高嶺加代子 千葉県立成東高等学校 PTA副会長	細野みか子 千葉県立木更津高等学校 PTA	土子 美乃 千葉県立佐原白楊高等学校 PTA	村上まゆみ 千葉県立鎌ヶ谷西高等学校 PTA
		櫛引 由紀 千葉県立木更津高等学校 PTA	藤原 直美 千葉県立佐原白楊高等学校 PTA	

分科会・特別分科会は、音声と発表データを収録したDVDを78ページに貼付しましたので、ご覧下さい。

	全高P連研究発表	特別第1分科会	特別第2分科会
テーマ	進路選択と親子のコミュニケーション	学校の危機管理とPTA 生徒指導上の諸課題解決のために	情報機器と学校教育 高校生のスマートフォン利用の 状況と必要な対応について
会場	幕張イベントホール	アパホテル&リゾート東京ベイ幕張 ホール	ホテルニューオータニ幕張 鶴の間
発表形式	第1部：基調講演 第2部：対談とディスカッション	基調講演とパネルディスカッション	基調講演とパネルディスカッション
基調講演講師	小林 浩 リクルート進学総研所長	上北 彰 千葉科学大学教職課程教授	藤川 大祐 千葉大学教育学部教授/副学部長
コーディネーター		戸塚 唯氏 千葉科学大学教職課程准教授	市野 敬介 NPO法人企業教育研究会事務局長
パネリスト	小林 浩 リクルート進学総研所長	村松 弥生 千葉県立柏の葉高等学校前PTA会長	細淵 真一 千葉県立市原八幡高等学校前保護者会会長
	宮本 久也 全国高等学校長協会会長	小笠原瑞枝 千葉県立柏中央高等学校PTA会長	村上みどり 千葉県立千葉南高等学校前PTA会長
	佐野 元彦 全国高等学校PTA連合会会長	野本めぐみ 千葉県立流山おおたかの森高等学校PTA監査	滝田 哲之 千葉県立千葉高等学校第2学年
	鈴木 裕枝 千葉県立柏高等学校前PTA会長	新井さつき 千葉県立小金高等学校前PTA会長	岩瀬 郁美 千葉県立千葉南高等学校第2学年
		武田 泰彦 千葉県立柏高等学校教諭	永野 直 千葉県立袖ヶ浦高等学校教諭
		清水 浩一 千葉県立市川工業高等学校教諭	與島 宏 千葉県立東金高等学校教諭
全国高等学校 PTA連合会 担当役員	野田 誠 全国高P連進路対策委員長	川原 慎一 全国高P連調査広報委員長	森野 真 全国高P連理事
	池本 義信 全国高P連研修委員長	村太 健二 全国高P連研修委員	山口 享 全国高P連研修委員
	小山 全司 全国高P連研修副委員長		
班 長	鈴木 裕枝 千葉県立柏高等学校前PTA会長	榎本 彰 千葉県立流山おおたかの森高等学校PTA会長	溝淵 順子 千葉県立千葉高等学校PTA会長
副班長	小野 祐司 千葉県立柏高等学校校長	吉田 富昇 千葉県立流山おおたかの森高等学校校長	鈴木 政男 千葉県立千葉高等学校校長
主 任	代崎 晶子 千葉県立柏高等学校教頭	山田 純稔 千葉県立流山おおたかの森高等学校教諭	川島 康行 千葉県立千葉高等学校教諭
			小高 正之 千葉県立千葉高等学校元PTA会長
司 会	森崎 綾子 全国高P連副会長	上武 裕香 千葉県立流山おおたかの森高等学校PTA	岡田多美江 千葉県立千葉高等学校PTA
	中野 正枝 千葉県立柏高等学校PTA		

分科会報告

全国高P連研究発表

～進路選択と親子のコミュニケーション～

研究発表は一部、二部構成で、一部では「第7回高校生と保護者の進路に関する意識調査」の結果から見えてくるさまざまな問題や課題が挙げられ、過干渉過ぎず、適度な距離を保ちながら子供の自立を促すことが大切ということと、保護者の関わり方が子供の進路選択に大きな影響を与えているという事が分かりました。

第二部のパネルディスカッションでは保護者、学校の立場から親子のコミュニケーションと子供たちの自立について活発な議論がなされ、自立とは自分で考え、自分で決断し、その結果に責任が持てることが自立であり、何事も身をもって体験することによって、子供自身の生きていく力につながるというお話がとても印象に残りました。

(野田 誠 理事)

第1分科会

学校教育とPTA

～再発見！愛 グローバル化に対応した

資質・能力を育む～

第1分科会はこちらの第9ホールで「学校教育とPTA」をテーマに盛大に開催されました。

北海道・東京・京都・岡山からの発表は、それぞれの地域の特色と課題を踏まえその課題解決に向けた日々、考え動くPTA活動をテーマとした内容でした。

いくつかのポイントと、アドバイスを頂戴したお二方のご助言をまとめて報告いたします。

まずは発表内容のポイントからご紹介します。

- 学校や地域での豊かなコミュニケーションが必須
- 親がグローバル化に対応しないと子どももグローバル化に対応できない
- 大学はゴールではない
- 役員が楽しんで活動していないと会員も楽しんで活動できない
- 自分たちが体験し学習しその姿を子どもたちに見せてあげること

• 子どもたちへは教えるのではなく、気づきをあたえるコーチングが大事

サブテーマであったグローバル化への対応に対して各校の取り組みが伺えました。しかしながらその根底にあるのは、その求心力の一役を担うのがわれわれPTAであり、課題解決へと楽しく笑顔でPTA活動することが大切なことだと受け止めました。

全国のなかでもそれぞれの地域の課題があり、その解決方法についてもいろいろなやり方があると思います。

さまざまな方法がある中、自分たちの課題にそれをどう取り入れることができるかを、生涯学習でもあるPTA活動を通じて考えていくことが大切であると学びました。

最後に、最も拍手喝采を浴びた発表内容での一言をご紹介します。

「誰もがいろんな理由で入ったPTA。一度入ったらなかなか抜けられない。それがPTA」

皆さんでポジティブに受けとめてこれからの活動を楽しんでいきましょう。

(大石幸和 理事)

第2分科会

進路指導とPTA

～再発見！愛 希望進路を実現する進路指導～

本分科会は「進路指導とPTA」再発見！愛、希望進路を実現する進路指導というテーマです。4校より発表された研究協議では多くの工夫と提案に満ちた素晴らしい内容でした。宮城県仙台向山高等学校の進路学習「向陵プラン」の取組み、栃木県立栃木高等学校の90%を超える驚異的なPTA総会出席率からの進路指導への効果、福井県立福井農林高等学校の産業界と連携された模擬面接の取組みとグリーンメールによる学校と家庭のつながり、高知県立高知工業高等学校の探求型人材育成(イノベーションKT)の取組み。どれも子どもたちの夢の実現に向けての学校・地域・家庭・産業界のそれぞれの役割、そしてそのつながり・連携を深めるアイデアに満ちあふれた未来志向の発信です。このすばらしい取組みのヒントか

ら自ら学び考え主体的に行動できる人材育成の様々な場面・機会に私たちがどのようにかかわっていくことができるのか？向かいあい、そして学び続けるPTAでありたいという強い思いを強いメッセージを、本年千葉大会第二分科会から強く大きく発信することを報告いたします。

(泉 満 理事)

第3分科会

生活指導とPTA

～再発見！愛 思いやりのある

「豊かな心」を育む生徒指導～

思いやりある「豊かな心」を育む生徒指導をテーマに、特色ある4校の研究発表及び、情報交換を行いました。

福島県立葵高等学校からは、「生徒・保護者・学校三者の意思疎通が重要であり、PTA活動を全て保護者に伝える努力をしている。」との発表がありました。

静岡県立焼津水産高等学校からは、「朝食を食べさせる指導の実施による、生徒への好影響として、欠席・遅刻・早退・生徒指導件数の減少、そして虫歯までの減少が顕著に表れたデータに基づく報告」があり、「今後は体力・気力の向上による学力向上を目指す。」との発表がありました。

滋賀県立長浜農業高等学校からは、「総会後に3学年の生徒を講師として招き、保護者がパン作りや、草花の寄せ植え体験を取り入れていること、また11月19日に農産物販売会を行うので、是非来校いただきたい。」とのPRもありました。

佐賀県立多良高等学校からは、「様々な不安を抱える生徒たちとPTAが正面から向き合い、常に未来ある生徒たちのためを考え、夢を育む活動」の発表がありました。

助言者のお二人から「素晴らしいの一言である！」、生徒指導は、まさに「愛の絆」それぞれのコミュニケーションが重要な要素であるとの助言をいただき、千葉大会実行委員会の「愛に満たされた」第3分科会でした。

(川部幸博 理事)

第4分科会

家庭教育とPTA

～再発見！愛 多様化する情報社会における
青少年の健全育成～

第4分科会のメインテーマは「家庭教育とPTA」です。スマホの爆発的な普及など情報社会とどう向き合うか、人と人の生の付き合いから生まれるコミュニケーションとは何か、について、4校のPTAが健全育成の視点で話し合いました。

印象深かったのが、茨城県立波崎高校PTAの報告です。スマホ利用の実態調査を、生徒、保護者、教員を対象に実施。スマホの知識について、生徒と保護者の間に格差が広がっていることを突き止めました。そこで、保護者が学び、保護者が保護者に教える「スマホ指導員」の必要性を説きます。

この取り組みについて、助言者である中央学院大学の譚奕飛准教授は高く評価。何の対策もしないで子どもにスマホを渡すのは「深夜の歓楽街に子どもを放置するようなもの」とたとえます。保護者ができる具体的な対策として、利用のルール作り、フィルタリング、使用状況の確認などを挙げました。

主テーマである家庭教育や健全育成についても、示唆に富む発表がありました。

三重県立石薬師高校PTAは、家庭の教育力を高めるためにはまず、親の視野を広げることが必要と考えたそうです。保護者が先生、生徒と共に学ぶ機会として、研修会や講座を開きました。

金沢市立工業高校はPTA役員による就職模擬面接など活発な活動を通して親と子の絆を強くしています。生徒と教員、保護者を一つの「チーム」と強調したことが印象的でした。

福岡県立西田川高校PTAはこう力を込めました。「先生と保護者の信頼関係があってこそ、生徒たちは安心して社会の入り口に立つことができる」。PTA活動の心構えとして、記憶に残る言葉になりました。

淑徳大学の山西哲也准教授は、PTA活動を授業に組み込むアイデアを紹介。行事への参加率がアップするために、PTA活動を通して保護者が

どれだけハッピーな気持ちになったのか、子どもたちがどれだけ成長したのかをアピールする大切さを強調しました。

スマホとの付き合い方など、私も悩める親の一人です。大変参考になる話し合いでした。地元に戻り「再発見、愛」を実践したいと思います。ありがとうございました。

(山野公寛 理事)

特別第1分科会

学校の危機管理とPTA

～生徒指導上の諸課題解決のために～

基調講演で千葉科学大学教授上北先生から、「大人達が子供からリスクを排除する事で結果、子供達はリスクと向い合う機会を失いリスク対応が未熟なまま成長している。自立を望む親と先生の思いとは裏腹な方向に子供達を導いている」とお話を頂きました。その中でリスクに向き合わせその経験により自助、共助を養う「大航海方式の教育」を提言されました。

パネルディスカッションでは、単Pで役員をされ教育にご熱心な4名の保護者と、生徒の為に日々頑張っておられる2名の先生に入って頂きました。4名の保護者は共に、大航海方式の教育に賛成であり、リスクに向き合わせ自立を促すことをご発言くださいました。先生は、生徒達にリスクを経験させ教育して行く事は現場としては難しいというお話でした。これを受け上北先生より、リスクと向き合わせる事にはバランスが大切で命に関わる事にはしっかり指導するべきであるとおっしゃって頂きました。

子供をどうリスクと向き合わせるか、それが子供の自立に繋がり自助、共助を身に付ける事が、これからの教育のファクターになるという結びで分科会を閉じました。

(川原慎一 理事)

特別第2分科会

情報機器と学校教育

～高校生のスマートフォン利用の状況と

必要な対応について～

テーマは「スマートフォン」。ポイントは3つ。

一つめは、「平成25年問題」。藤川先生の講演によると、高校生のスマホの所有率が80%を超えた25年を節目に、ネットいじめ等が増加。今や所有率は97%、平均使用時間は192分。

次に二つめは、「ツイッターを使ったディスカッション」。コーディネーターの市野さんの発案で、ツイッターで会場の方の意見をリアルタイムでスクリーンに写される斬新なスタイルで、150もの意見が書き込まれました。(＃スマホ千葉)

そして三つめは「元気な高校生パネリスト」です。地元千葉県の保護者2名、先生2名の実践に基づく意見に加えて、二人の高校生、滝田さんと岩瀬さんのお話が好評でした。検索や部活、学校の連絡、友達とのコミュニケーションなど、毎日スマホを使いこなす二人。高校生にはスマホは必需品で、使うなどと言っても無理。使い方は個人の裁量なので、家庭で腹を割って話し合うことが大切と。また、PTAの研修会に参加しないような方にどう伝えるか？という問題については、高校生のほうがスマホには詳しいので、高校生にしっかり教育し、子供から親に伝えるのが良いのではという目から鱗の発言もありました。

社会のIT化が日々進む中で、デメリットは小さく、メリットは最大限に活用していけるよう、大人もスマホを理解し子供と話し合っていくことが大切だということを、高校生と共に学ぶことができた分科会でした。

出演者、発表者、そして千葉県の皆様、本当にありがとうございました。

(森野 真 理事)